

意見概要		回答
情報提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○説明会の継続実施や窓口対応の強化、メディアの活用など、住民への対応に引き続き取り組んでいただきたい。</li> <li>○迅速な情報提供や職員への説明会、対応に関わる費用負担など、自治体への対応もお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2019年の秋以降、オープンハウス型の説明会を基本としつつ、地域の事情を踏まえた説明会を開催する。また、住民からの問合せ窓口の充実やさまざまな手法での広報などを実施する。</li> <li>○コールセンターの充実、自治体に対する勉強会の充実や航空会社による自治体向けの窓口設置などを図る。また、区が独自でコールセンターを設置する場合、どのような支援が可能か検討したい。</li> </ul>
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○落下物対策等について、駐機中の機体チェックや基準や仕組づくり、再発防止など、対策の確実な実施にしっかり取り組んでいただきたい。</li> <li>○事故発生時の原因究明と公表、対策の実施状況や効果の公表など、今後、継続的な情報公開をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機体チェックなどの落下物対策総合パッケージを着実に履行するほか、落下物防止対策基準の充実に向け定期的に検討し、必要に応じた対策の追加などを行う。</li> <li>○部品脱落事案の定期的な情報提供を図るほか、落下物対策について関係者の取組に関する情報発信を強化する。</li> </ul>
騒音対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低騒音機の導入促進や最新技術・知見の反映など、更なる対策の強化に取り組んでいただきたい。</li> <li>○騒音測定局の設置と結果公表、対策の実施状況や効果の公表など、今後、継続的な情報公開をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○騒音に関してよりメリハリを付けた着陸料体系に変更して低騒音機の導入を推進するほか、降下角度の引上げによる可能な限りの飛行高度の引上げを図る。</li> <li>○騒音測定局を増設してホームページ等で測定結果を公開するほか、航空会社の機材更新の状況も情報提供する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飛行検査の周知をしてほしい。</li> <li>○不動産価格の調査について情報提供してください。</li> <li>○航空管制施設整備等の手続き等が済み次第、速やかに旅客機による試験飛行を実施してください。</li> <li>○航空に関する更なる情報公開や今後も関係自治体への情報提供の仕組みづくりを進めていただきたい。</li> <li>○当該事業の最終的な決定に当たっては、国の判断、責任において実施していただきたい。</li> <li>○都心上空を飛行する現飛行ルート案を固定化することがないよう取り組んでいただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○飛行検査の予定は、判明次第、自治体に情報提供するとともに、さまざまな手法で広報を実施する。</li> <li>○不動産価格への影響調査は、早期に情報提供する。</li> <li>○1月下旬以降のできるだけ早い時期に、実機による試験飛行を実施する。</li> <li>○環境対策や落下物対策の取組状況などについて更なる情報提供を図る。また、新飛行経路開始後、各自治体との間での情報共有や意見交換の場を設定する。</li> <li>○羽田空港の機能強化に関する最終的な決定は、国の判断、責任で実施する。</li> <li>○飛行ルートのあり方については、騒音軽減等の観点から継続的に検討して参りたい。</li> </ul>